

■大宮東ロータリークラブ
会長 大石 秀成様、幹事 糸川 紀子様



■岩槻東ロータリークラブ
会長 奥津 雅史様、幹事 増渕 明様



委員長報告、派遣役員報告

■ラーニングファシリテーター
伊田 雄二郎

8/26 (月) 例会後 13:45 から1時間ほど新入会員研修会を開催します。対象は2023年10月以降の入会の会員+昨年欠席された方、よろしくお祈りします。



■クラブ会報委員会
委員長 島袋 祥子

本日の部門別委員会方針の週報用原稿は、明日7/9 (火) までに事務局に送ってください。

■インターアクト委員会 委員長 榎本 貞寿
インターアクトクラブとして活動中の埼玉栄高等学校吹奏楽部 植育係の皆さんのインタビューが、さいたま市の「さいたま市花いっぱいだより」創刊号に掲載されました。「今後は部内に限らず、地域の方とも連携し、花を通じた触れ合いを増やしていきたい」と話してくれました。



誕生日祝い

新城 盛幸 (1日)、十文字 裕司 (5日)、藤嶋 剛史 (8日)、今井 一郎 (10日)、増永 裕樹 (11日)、齊藤 敏雄 (14日)、新藤 栄介 (20日)、加藤 慎也 (26日)、福田 和子 (30日) 各会員



代表ご挨拶 直前会長 藤嶋 剛史
ロータリーに入会して10回目の誕生日祝い、ついに当日です。今日、56歳になりました。アンチエイジングに励もうと思います。



ロータリーの友 解説

広報委員会 委員長 永井 博
横組

P.22 「ガバナーの横顔」2024-25 年度全地区ガバナーが紹介されています。2770 地区は P.27 にて川口 RC の岡村ガバナーの紹介があります。

P.44 ピックアッププロジェクト 「スリランカで水と衛生を支援」私も前職商社時代にスリランカで国会議事堂建設やヒルトンホテルの運営やセイロン茶の輸入などに関わっていたこともあり、興味深く記事を読みました。この浄水プロジェクトは、現地出身のローターアクター

からの発案で実現したプロジェクト。スリランカはアレクサンドリアナイトに代表される宝石も有名です。内戦も沈静化して久しく治安も安定していますので、是非訪れてみてはいかがでしょうか。

P.59 「投稿をお待ちしています!」「友愛の広場」の枠に、先般の甲子園での親睦試合について投稿したいと思います。いろいろな投稿を募集してまして、「うちの子」では自慢のペットを紹介できますので、我こそはという方いらっしゃいましたら是非お声がけ下さい。

縦組

P.9 「この人を訪ねて」北アルプスの燕岳の登山口で山小屋を経営する松本 RC の赤沼さんが紹介されています。こちらも私が松本に近い長野県上田市の出身でもありまして興味深く読ませていただきました。

「汚い、狭い、食事がまずい、横柄」そんな山小屋宿泊施設のイメージを払拭する山小屋にしたいという理念のもと、今では、「泊まってみたい山小屋、泊まって良かった山小屋」の第一位に選ばれている日本一の山荘とのことです。これからの時期、最高のシーズンではないでしょうか。

P.21 「ロータリーあるある相談室」今回は、「自己中、やりたい放題、ニコニコにも一切協力せず、ゴルフのスコアはごまかして堂々と表彰式に顔を出す会員をどうしたらいいか?」なんて相談が寄せられていて、これに対してパストガバナーさんが答えるというもので、あるガバナーさんは、「人間年をとれば立派な人はより立派に、悪い人はより悪くなるから半面教師とってほっときなさい」と回答されていました。



部門別委員会方針

■財団支援担当理事 福田 和子

先週8部門の方針が発表されました。いずれも実行するためには寄付金がないとできません。そのための認識向上と資金調達を行います。今年度、財団支援部門は3つの委員会から成っています。ロータリーの奉仕活動の多くはロータリー財団を通して実現されています。現在、財団・米山の寄付は会員の皆様の年会費より自動的に徴収されています。年度計画書の63~67ページには寄付金明細が掲載されています。皆様のご理解ご協力をお願いします。また、グローバル補助金にしまして、オーストラリアとの連絡において川鍋会員に通訳として大変お世話になりました。御礼申し上げます。今後よろしくお祈りします。最期に、財団支援担当理事として個々に寄付金のお願いがありますが、その際はよろしくお願いします。



■ロータリー財団委員会 委員長 円谷 友香

ロータリー財団のもと、皆様の寄付金が、地域社会、そして世界に役立っています。ロータリー初の「大規模プログラム補助金」は、ザンビアの130万人の人々をマラリアから守ることを目的としたものです。すでに目標の半分以上が達成されています。

ロータリー財団 (TRF) は、1917年に、当時の RI 会長のアーチ・クランプ氏が「世界で良い事をする」その基金として設立され、ロータリアンが TRF に寄付して頂いた総額の半分が三年後地区財団活動資金 (DDF) として地区財団活動資金 (DDF) として地区に還元されます。この DDF を地区補助金等に利用し奉仕プロジェクトや財団奨学生に派遣、ロータリー平和フェローの支援等有効に使われます。

会員の皆様には、財団の仕組みや資金運営を学ぶことの必要性を感じて頂き、年次寄付200ドル、ポリオプラスの寄付50ドルを達成継続できるようご理解、ベネファクターの寄付者2~3名のご協力をお願いいたします。

会長幹事・理事・財団委員、財団について深い知識をお

